



※今月のみ受注の書目です。注文が重複した場合は、多い方の冊数で進めさせていただきます。

社会学書(人種問題)ご担当者さま

ブラジル黒人運動とアフリカ

ブラック・ディアスポラが父祖の地に向けてきたまなざし

矢澤達宏(上智大学外国語学部教授)[著]

本体予価 5,000円 A5判上製 / 256頁 ISBN 978-4-7664-2596-3 C3036

👉ココに注目!

- ・ブラジル黒人は自らのルーツをどう位置付けてきたのか。
- ・米国と比べて「人種差別が少ない」とされるブラジル社会を検証。

19世紀後半、大西洋奴隷貿易が廃止され、アフリカ系人が奴隷の身分から解放されると、米国やカリブ海地域を中心に、アフリカにアイデンティティを求める運動が浮上する。しかしながら、ブラック・ディアスポラ(故地から引き離されたアフリカ系人の意)であれば誰もがそのようなルーツ回帰志向を持っていたわけではない、と著者は指摘する。本書では、ブラジル黒人の歴史から、アフリカ系人が自身の地位向上を目指した運動・言論において、アフリカをどのように位置付けてきたか、またそれを規定した要因が何かを検討する。

👉詳細目次は裏面に掲載! ぜひご確認ください!

対象 (アフリカ系人と人種差別問題、文化的アイデンティティ論、ブラジル地域研究を専攻する)
研究者、大学院生

📞 **ご注文はFAXで! 03-3451-3124** 📞

番線	ご注文部数	発行所: 慶應義塾大学出版会	本体予価	部数
新刊委託		矢澤達宏著 ブラジル黒人運動とアフリカ ーブラック・ディアスポラが父祖の地に向けてきたまなざし ISBN978-4-7664-2596-3 C3036	5,000円	★★

★1つで「500部」を表します

〈詳細目次〉

序章 ブラック・ディアスポラ研究とブラジル

第一章 ブラジル黒人のアフリカ「帰還」—「帰郷か、退避か」を超えて

- 一 先行研究と問題設定
- 二 「帰還」現象の概要—背景、経緯、帰結
- 三 アフリカへの「帰還」をめぐる考察
- 四 アフリカ「帰還」現象としての特徴—米国黒人のリベリア入植との比較から
- 五 ブラジル黒人の「帰還」の評価
- 六 むすび

第二章 20世紀前半のサンパウロにおける黒人運動の性格と動態

- 一 問題意識
- 二 先行研究の整理と問題設定
- 三 20世紀前半のサンパウロと黒人の置かれた状況
- 四 20世紀前半のサンパウロにおける黒人運動の展開
- 五 むすび

第三章 20世紀前半の黒人新聞がとりあげたブラック・ディアスポラ—「アフリカ性」の忌避

- 一 アフリカとブラック・ディアスポラをどのようにとりあげたか
- 二 アフリカとブラック・ディアスポラに関する記事の分析
- 三 黒人新聞のアフリカとブラック・ディアスポラに対する言及の評価
- 四 アフリカ志向性の希薄さ—外因説は妥当か
- 五 むすび—「アフリカ性」にみずから背を向けて

第四章 20世紀前半の黒人新聞の言説にみる人種とネーション—混血のブラジル人への執着

- 一 差別・排除の弱さゆえの総合志向？
- 二 「人種民主主義」を信じていたというが……
- 三 「人種の天国」言説と黒人を含む「ブラジル人」の構想—フレイレの議論の源流
- 四 「人種の天国」言説と差別体験の狭間で
- 五 黒人を中心的要素とするネーション像
- 六 むすび—「人種の天国」という壁、「混血のブラジル人」という拠りどころ

第五章 ブラック・アトランティックのなかのブラジル

—アブディアス・ド・ナシメントの思想(1960—70年代)におけるアフリカ志向とその背景

- 一 ブラジルの黒人をアフリカと結びつける—どのように？なぜ？
- 二 国外の思想に触発された「抵抗・反抗するブラジル黒人」という見方
- 三 ブラジル黒人運動史のなかのアブディアス
- 四 アブディアスの思想におけるアフリカ志向とその意図
- 五 アフリカ志向の淵源をめぐって
- 六 むすび—アフリカ志向の根底にあった白人知識人への懐疑・反発

終章 成果と課題、そして展望

- 一 ブラジル黒人運動がみせてきた相反するアフリカ志向
- 二 「アフリカ性」のジレンマ—ブラック・ディアスポラ研究への含意

付録 20世紀前半のサンパウロ州における黒人新聞紙面資料

参照・引用資料